

黒埼南ふれあい協議会ニュース

第27号

ふれあいかわら版

新しい年を迎えるための
『稲穂のお正月かざり』

昨年の12月17日(土)、黒埼南小学校においてお正月飾り教室が開催されました。アグリクラフトインストラクターの山際裕子さんらが講師を務め、こどもと大人の約70人が、2時間程かけて素晴らしい「しめ飾り」を完成しました。

この企画は、黒埼南ふれあい協議会教育文化部と黒埼南小学校ふれあいスクールまめっ子クラブと黒埼地区公民館が、日本の伝承文化を肌で学んで欲しいと計画しました。

子ども達には「なわをなう」という言葉も知らないし経験もありませんので、まずは一人なわ絢(な)えの実演を見学しながら、なわの撚りの原理を理解します。

今度は二人一組で30本ほどの稲わらの束を二人作業で、撚りを加えながら、なわなえをして、二種類のしめ縄の土台を作ります。そこに古代米の稲穂(黒米・大黒米・赤米・紫米)を飾ります。



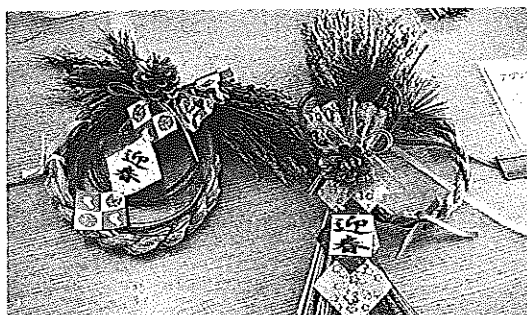
民具保存会から
手ほどきを受
ける

お正月飾り
教室の様子



次に、赤の水引10本を使ってハートの形と輪の形のどちらかの好きな形をつくります。同時に折り紙で扇と迎春の飾りを作ります。

文章にすると簡単ですが、ここまでの作業に約1時間半の時間を要します。



素敵なお正月飾りとなりました

最後に、古代米を飾った土台に扇の飾り、赤の水引、松葉、松ぼっくり、迎春の飾りをそれぞれ飾り付けて、金の水引でリボンを作って飾り、それぞれの思いのこもった作品を完成させます。

2時間に亘ってのしめ飾りに挑戦する子ども達の顔はとても素敵でした。家に飾って素敵なお正月を迎えたものと思います。

なお、民具保存会の会長山際辰夫さんからは、しめ縄や手作りミニ米俵、布ぞうり、猫つぐら、可愛い動物の置物なども見せていただき、有意義なお話もお聞きすることができました。

一口メモ お正月飾りは大掃除を済ませて12月26日～30日までに飾るのが本来の飾りとなります。ただし、29日の9は「苦」に通じて縁起が悪いので、この日は避けるとされています。大晦日の31日に飾ることは「一夜飾り」と云って、新年においていただく年神様に対し、礼に欠ける行為とされています。

大谷ハルノさん ミシンを踏んで30年



去る1月24日(火)、木場八割の大谷ハルノさん(大正2年1月生まれ)が、手づくりの児童用エプロン20枚と教員用エプロン10枚を黒崎南小学校に寄贈しました。

洋裁は70歳を過ぎた頃から娘の仕事を手伝うようになり、本格的に取り組むようになったという。自分の服も自分でデザインして縫って着用しているそうです。

百寿者となった大谷さんは、至ってご健康、何の不自由もなく、縫い針の穴に糸を通すのはいとも簡単、晩酌も家族とお付き合いするそうですから驚きです。

日本の百寿者は、平成19年に3万人を超えたそうですが、「百寿者研究会」の調査によると、百寿者全体の4%の人が、認知症や視聴覚障害もなく元気に自立しているそうです。大谷さんもまさに健康長寿のお一人です。

エプロンの贈呈式では、大谷さんから全校の児童に対して「先生方の話を良く聞いて勉強に頑張ってください」旨の挨拶がありました。

続いて児童代表5年生の渡辺杏菜さんにエプロンが手渡されました。6年生の小林愛さんからは「立派なエプロン有り難うございました。私も勉強でエプロンを縫いましたが、真っ直ぐに縫えませんでした。今後もお体に気をつけて沢山のエプロンをつくってください」旨のお礼のことばがありました。

100歳まで生きて、立派なエプロンを縫えるなんてすごいことです。



エプロンを寄贈される大谷ハルノさん

「情報交換会」 4校区ふれあい協議会

去る1月28日(土)、割烹「山六」において黒崎地区4校区ふれあい協議会の情報交換会を開催しました。

開会、来賓挨拶に続いて、各校区の実施事業の紹介がありました。主な事業は、次のとおり。

◇大野校区

①市民のための法律教室、②大栄寺住職による講演会、③平山征夫時局講演会、④環境美化活動「須上ランニングロードの清掃」など

◇山田校区

①歩け歩け健康ウォーキング、②交通量調査、③もの作り(飛行機)大会、④ふれあいチャレンジカップ大会、⑤新春囲碁・将棋大会など

◇立仏校区

①さわやか健康体操、②地域のおしゃべりコミュニケーション(避難所開設マニュアル作成)、③防災訓練事業、④キックベースボール大会、⑤「食の大切」研修会など

以上の3校区は、8月7日の「西区クリーンデー」参加事業をも実施しております。

◇黒崎南校区

①ウォーキングインみどり森、②生活安全講習会、③輪投げ大会、④お正月飾りをみんなで作ろう、⑤枝豆の里で作る幻の肴豆のわいわい講座、⑥南部公民館玄関装飾事業など

以上の他に4ふれ協共催で去る12月2日に「お笑い健康トークショー」と題して西区黒崎地区健康講座を開催しております。



続いて、市川孝幸西区地域課長から各区のコミュニティ協議会の地域活動補助金を活用した活動事例の紹介があり、黒崎南ふれ協の江端会長からは南部公民館オアシス事業の成果と「茶豆ふれあいライン」の命名について説明がありました。